

## カルテ番号成型ツール ReID3 を用いた枝番除去復元手順

本来のカルテ番号には枝番が無く、レセコンから出力したレセプトには枝番が付与されている場合、SELF ではレセプト上のカルテ番号に基づいて処理するため「枝番付き」のレセプトを「枝番なし」に修正する必要がある。

1. 枝番のついたままのレセプトをそのまま登録すると「対象患者一覧画面」に  
カルテ番号に数字以外が記録されています。枝番の有無を確認してください。  
と警告が表示される。枝番は「カルテ番号」の列で確認することができる。

SELF に誤って枝番のついたままのレセプトを登録してしまった場合、  
「カルテ番号成型ツール」ReID3（リード3）を用いて修復を行う。  
SELF の HP の Q&A の「枝番付きカルテ番号について」の  
「カルテ番号成型ツール」([https://cypher.ne.jp/ReID\\_install3.zip](https://cypher.ne.jp/ReID_install3.zip)) から  
ReID\_install3.zip をダウンロードする。

2. ① ダウンロードした ReID\_install3.zip を解凍する。  
解凍の方法は ReID\_install3.zip を右クリックし、「すべて展開」を選択する。  
② 解凍すると「ReID\_install3」フォルダができる。  
③ 「ReID\_install3」フォルダをダブルクリックして開く。  
④ 01 reid-install.bat をダブルクリックすると黒い画面が開き、カルテ番号修正  
バッチが実行される。  
説明書.txt を開くとカルテ番号成型ツール ReID3 の使い方の説明が開きます。
3. ① SELF のメニュー画面を表示させ、URL をコピーする。  
② コピーした URL をメモ帳にコピーする。  
コピーするのはメモ帳ではなく Word でも Excel でもかまわない。  
③ URL 末尾の「receview」を「reid-form3」に書き換える。  
④ 新しいタブを開く。  
⑤ 「reid-form3」に書き換えた URL を貼り付けて、Enter キーを押すと  
カルテ番号成型ツールの画面が表示される。

- ⑥ カルテ番号成型ツールの「除去する記号番号:」(・)が「対象患者一覧画面」のカルテの列に表示されるカルテ番号の枝番の記号(\*)と異なる場合にはカルテ番号の枝番(\*)に変更する。
  - ⑦ [ファイルの選択]をクリックし、枝番を除去する電子レセプトを選択する。
  - ⑧ 枝番が除去される。同時に枝番がついたまま入力されたデータの復元が行われる。枝番が除去された電子レセプトのファイル名が表示される。ファイル名をクリックすると枝番が除去された電子レセプトがダウンロードされる。
  - ⑨ 社保が終わったら[ファイル送信画面に戻る]をクリックし、同様の処理を行う。
4. ① SELFの「メニュー画面」に戻り、「電子レセプトの登録」の[ファイルの登録]をクリックし、3. で枝番を除去した電子レセプトを選択する。
    - ② [登録]をクリックする。社保に続いて枝番を除去した国保も同様に登録する。
    - ③ 「対象患者一覧」を表示し全体を下までスクロールすると、「枝番あり」の患者と「枝番なし」の患者が混在している。  
確認したら「対象患者一覧」を閉じる。
  5. ① Cドライブの「HDD\_RV2」フォルダの中の「FF1」フォルダの中の、YYYYMM フォルダ（YYYYは西暦年、MMは月）「202501」フォルダの中の「RE」フォルダを開く。
    - ② 「202501」フォルダの中の「RE」フォルダ内の全てのcsvファイルを消去する。  
「Ctrl キー+A キー」を同時に押すと全てが選択され、「Delete」キーを押すと消去される。
  6. もう一度SELFの「メニュー画面」に戻り、「対象患者一覧」を開くと、「枝番なし」のカルテ番号の患者だけのリストとなっている。

注：リストでは「作成済み」となっているも、まだ復元は完了していない。  
「作成済み」を保存して復元を完了させる必要がある。
  7. リストの最初の患者の「FF1入力画面」を開き、[保存して次の患者へ]をクリックする。これにより「作成済み」が保存され、復元が完了する。  
次の患者の「FF1入力画面」が開いたら、[保存して次の患者へ]をクリックする。  
この作業を対象患者全員に対して行う。  
リストの最後の患者になり[保存して対象患者選択に戻る]をクリックしたら復元作業は完了である。
  8. 最後にその月のFF1ファイルを生成し、「外来データ提出支援ツール」で単体チェックを行い、エラーがないことを確認する。